

10月期特定非営利活動法人コミュニティラジオ京都  
放送番組審議会（2018年度 第6回） 議事録

1. 日時 平成30年10月25日（水）18:30～19:50

北区役所 3階 第4会議室

2. 審議委員 7名

委員： 中川隼人（委員長）

高奥英路 板垣則子 片木健二 淀野訓子 久保駿哉 吉村信二

3. 事務局出席者及び参考人

伴野義幸（NPO法人 事務局長） アドバイザー：白石方一

4. 番組審議

1) 対象放送（約15分程度 聴取）

平成30年10月19日（金）15時00分～15時50分

「GLOCAL KYOTO-weekend edition-」（Alan、横井雅子）

内容：再放送を土曜、日曜日（舞鶴でも再放送）

グローバルな視点で京都に住む方々、外国人に向けて暮らしの情報を発信

京都在住アメリカ人 DJ Alan とバイリンガル日本人 DJ 横井雅子と二人で英語

と日本語を交えて京都情報を発信。

番組全体構成：OP トーク

Our topics（毎回 DJ Alan の気になるニューストピック紹介）

Kyoto Weekend Spotlight（週末にある京都イベント紹介）

※視聴カットしています。

Life in Kyoto（外国人にも役立つ京都暮らし情報、防災情報等）

END トーク

2) 番組審議、意見交換

- ・ 番組構成
- ・ 取扱う題材や話題性、伝達性
- ・ 当法人が定める放送番組基準の適合性
- ・ 今後の番組制作へあたって参考事項

5. その他

1) 報告事項

10月から新しい番組表の配布、交流会の概要告知

2) 次回（11月期）開催日 11月20日（火）18時30分～

（12月期）都合により開催中止 12月26日（水）理事会に合流参加予定

## 番組審議内容

### <全体構成・題材・伝達性等について感想>

- ・ネイティブアメリカ人と日本人との組み合わせ番組として、特徴づけができる。
- ・ただし、誰に対して何の情報を伝えたいのかが、いまひとつはっきりしていない。
- ・京都の外国人に対して伝えたい情報が、居住者なのか観光客なのかによって違ってくるが、ばらばらの感がある。
- ・日本人なら誰もが知っている内容でも、しっかりと英語で話をしてあげたらいい。
- ・外国人に向けて、日本語の英語訳をもっともっとしゃべってほしかった。
- ・アランが自由にしゃべり、横井さんがフォローする構成の方が良いのでは。今日の番組では、横井さんがリードをして話題を振り、アランさんが軽く答えるだけという形が多く、外国人がパーソナリティという番組の特性が発揮されていない。
- ・二人の息は会っていて、声のトーンもよく聞きやすい番組ではあるが、もったいない。

### <改善点>

- ・番組のコンセプトを明確にすること。
- ・ターゲットは在住外国人か観光客かを明確にすること。
- ・ターゲットに合わせた内容に修正すること
- ・今回のオープニングトークは6分ほどあり、長すぎた。
- ・イントロで風邪が流行る季節、次のテーマの導入でインフルエンザの話題があり、ダブルの話題になっていた。
- ・海外で風疹のニュースがあり、風疹についても喚起することがあってもよかったです。
- ・慢性疾患という話題になり、英語での紹介が出来なかったのは残念。

### <今後の参考・提案>

- ・この番組を聴いて、外国人は情報としてよく理解できる番組。日本人が聞く場合は英語の勉強ができる番組というようになればいい。
- ・コーナーを整理して、外国人への緊急情報番組としての意義をもたせたらよい。
- ・BGMも外国人のアランの選曲というのがよい。
- ・アランさんも開局以来がんばっていただいているので、もっと個性を出してもらったらよい。

### 総括

今回審議対象となったものについては、当法人が定める放送番組の基準に照らし合わせてみても、これに反するものは認められなかった。

### 審議会議事録の開示

平成 30 年 10 月 31 日以降 法人事務局で、閲覧できるようにした。

以 上